

春の特別展～川と桜と道中の歴史～

1. イベント概要

期 間：平成30年4月7日（土）～4月22日（日）
 会 場：信濃川大河津資料館2階
 内 容：春の特別展として、大河津分水の桜とおいらん道中の歴史などを紹介しました。
 主催者：信濃川河川事務所

大河津分水春の特別展

川と桜と道中の歴史

2階にも展示しています。また、4階展望室からは大河津分水の桜を一望することができます。

期間：平成30年4月7日(土)～4月22日(日)
 会場：信濃川大河津資料館
 衣装の展示は1階休憩室、歴史の紹介は2階展示室となります。
 料金：無料です！



大河津分水春の特別展

川と桜と道中の歴史

期間：平成30年4月7日(土)～4月22日(日)
 会場：信濃川大河津資料館

その昔、信濃川の氾濫により泥海と化した越後平野の姿は今はありません。大河津分水の通水により越後平野は恵みの大地へと生まれ変わりました。

大河津分水。越後平野の人々が200年にわたり待ち望んだ守り神。その完成を記念し、先人達は桜を植え、おいらん道中を催し、この偉業を後世に伝える花絵巻を遺してくれました。

この特別展を通じて大河津分水や桜への想いを深めていただければ幸いです。



大河津資料館2階展示スペースで行われました。

2. イベント状況

大河津分水の桜に関するパネルでは、大河津分水に桜が植えられた理由や今日の桜並木に至った経緯などを紹介したほか、全国桜名所100選に選定された際の資料などを展示しました。また、おいらんの紹介として「おいらんの衣装の重さは何kg?」といったクイズなども展示しました。



100年前にまで遡る大河津分水の桜の歴史を年表として紹介しました。最盛期には6000本の桜が咲き誇っていました。



大河津分水の桜の生みの親である田沢実入と育ての親である山宮半四郎を紹介し、現在の桜を守り伝える活動も紹介しました。



おいらんを紹介する大きなパネルでは、髪型や着物の独特の名称を紹介。足を止めて見入る方もいらっしゃいました。

柏崎からお越しのご夫妻



柏崎市から桜がきれいなところを探してきました。今回、おいらんさんの高下駄や衣装の紹介を興味深く見させてもらい、おいらん道中の予習ができました。

また桜並木の歴史は明治43年の古くから始まっていることを知り、驚きました。また友達を連れて一緒に来たいです。



ショーケースでは、おいらんが履く高下駄を紹介。独特の歩き方である「外八文字」の動きを真似る方もいらっしゃいました。